

## アマダ、国際的な環境イニシアティブ「RE100」に業界初加盟

国内全拠点電力を100%再生可能エネルギーに切り替え

# CLIMATE GROUP RE100



株式会社アマダ(神奈川県伊勢原市、代表取締役社長執行役員:山梨 貴昭)は、全拠点(グループ会社含む)の事業活動で使用する電力を100%再生可能エネルギーにすることを目指す国際的な環境イニシアティブ「RE100」に加盟※しました。「RE100」の加盟は工作機械業界で国内初となります。

また、当社では2022年度より国内全拠点(事業所・工場・営業所等)で使用する電力を100%再生可能エネルギー由来に切り替えました。これは、温室効果ガス排出量の約28,000トンの削減となります。他のCO<sub>2</sub>削減の取り組みを含めると、国内の事業所・工場のCO<sub>2</sub>排出量(Scope1+2)は、省エネ等含め2013年度比90%削減(海外含む全拠点では65%削減)となります。

アマダグループは事業活動におけるCO<sub>2</sub>削減の取り組みとして、以下の2点を進めてきました。

### ■CO<sub>2</sub>排出量ゼロ達成のための主な取り組み

#### 1. 省エネルギーの取り組み

- 工場内の生産工程におけるエネルギー削減施策の実施  
(マシンフレームの焼鈍工程廃止、熱処理工程改善、粉体塗装焼付工程の電化、チラーのブースター冷却方式への更新など)
- 照明のLED化や高効率空調への更新
- 老朽施設更新による省エネルギー対策

#### 2. 再生可能エネルギーの導入

- 伊勢原事業所や土岐事業所、小野工場、福島工場への太陽光発電の設置
- 再生可能エネルギー電力の調達への推進

アマダグループは2021年に制定したサステナビリティ基本方針に基づき、「脱炭素社会の実現」に取り組むべき重要な課題としています。その達成のため、事業所・工場において2030年度CO<sub>2</sub>排出量75%削減(2013年度比)、2050年度カーボンニュートラルを目指す目標を策定しています。また、関連した国際イニシアティブへの対応として2022年4月にはTCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)に賛同し、同年11月にはSBT(科学的根拠に基づく温室効果ガス削減目標)の認証を取得しました。

加えて、使用時の2030年度CO<sub>2</sub>排出量50%削減(2013年度比)を目標とした商品を通じた環境施策も行っています。2023年2月に開設したアマダ・グローバル・イノベーションセンター(AGIC)では、先端技術を活用した環境に優しい新商品をラインナップしています。

#### ■環境に優しい新商品の例

1. CO<sub>2</sub>排出量表示を含む新NC装置「AMNC 4ie」搭載マシン
2. CO<sub>2</sub>排出量を65%削減した(2013年代表商品比較)新ファイバーレーザーマシン
3. 駆動軸のオイルフリーを実現した電動サーボ新ベンディングマシン
4. 夜間での自動化加工を可能にするレーザー用多段棚システム

2023年5月に発表した「中期経営計画2025」では、事業所や商品のCO<sub>2</sub>排出量削減を進めていくため、2025年度までに国内海外合わせ約100億円の環境関連投資を行うことを明示しています。またカーボンニュートラル達成に貢献するため、2030年度までに自社での環境配慮型商品開発、設備更新、自家発電設置等を進めていくことで、環境関連投資は約300億円を予定しています。

アマダグループはこれまで機械業界において先進的に環境関連活動に取り組んできました。アマダグループ環境宣言のスローガンである「エコでつながるモノづくり」を、これからも長期的な視点で実践し、持続可能な社会の発展に貢献するとともに、100年企業へ向けて企業価値の向上を目指してまいります。

※今回の参画にあたっては、持続可能な脱炭素社会実現を目指す企業グループである、日本気候リーダーズ・パートナーシップ(JCLP)の支援を受けました。

(参考資料)アマダグループの環境活動のあゆみ

1991年	クリーンキャンペーン活動スタート
1998年	製品アセスメント実施要領制定(商品) 伊勢原事業所、環境に関する国際規格「ISO14001」認証を取得
2000年	AMADA AUSTRIA GmbH 「ISO14001」認証を取得
2001年	アマダエコプロダクツ認定制度開始
2002年	富士宮事業所「ISO14001」認証を取得
2003年	指定回収部品制度(規制化学物質を含んだ使用済み部品の引き取り)発表 CO <sub>2</sub> 10年間で1万トン削減(事業所および自社商品におけるCO <sub>2</sub> 削減)発表
2006年	RoHS指令対応(EUの有害物質規制への対応)発表
2007年	アマダ・エコ・インフォメーション・マーク制定(ステークホルダーへの商品環境情報の提供)
2008年	小野工場、天田(連運港)机床工具有限公司「ISO14001」認証を取得
2010年	アマダグループ環境宣言 伊勢原事業所、富士宮事業所、小野工場で「ISO14001」統合認証取得
2011年	土岐事業所を開設、事業所内のテクニカルセンターをゼロ・カーボン施設化
2012年	関西テクニカルセンター「ISO14001」統合認証取得
2013年	ニコテック三木工場「ISO14001」統合認証取得
2014年	アマダミヤチ野田事業所「ISO14001」統合認証取得 アマダヨーロッパS.A.「ISO14001」認証取得
2015年	天田(上海)机床有限公司「ISO14001」認証を取得 アマダオートメーションシステムズ福島工場「ISO14001」統合認証取得
2016年	天田(中国)有限公司「ISO14001」認証を取得
2020年	伊勢原鈴川事業所・川口事業所「ISO14001」統合認証取得
2021年	2030環境目標策定
2022年	気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)提言への賛同表明 SBT認証を取得

以上